

国鉄「分割・民営化」阻止 / 三里塚二期着工粉碎！

我孫子-成田
津田沼
錦糸町-千葉

突入 阻止 実効 線見

一月間の順法貫徹、2月第二波スト

昨日より、全支部をあげた線見阻止闘争が開始された。当局、権力の弾圧体制をはねのけ、我孫子-成田で、錦糸町-千葉で、そして津田沼で怒りの阻止行動が展開された。不当処分と共に、動労千葉破壊のためのみに強行されんとする業務移管をどうして許せるか。この一カ月あらゆる場所、あらゆる手段で当局を徹底的に追いつめ、第二波ストを叩きつけ、「61・3ダイ改」-業務移管阻止へつきすすめ。【詳報次号】

大弾圧体制けつて突入

関東動員の白腕制服、全国動員の公安特動隊、ホーム構内に入りこむ特動隊。当局は、われわれの怒りの決起に恐れをなし、東京三局はおろか、水戸、高崎局も含む大量の白腕、関東管区を始め、小倉、静岡など全国動員の公安機動隊を駅、電車区構内に配置、国家権力機動隊も、これと呼応し、ホーム上さらには自主判断と称し、電車区構内にまで入りこみ弾圧の機をうかがうという、まさに当局・権力一体となった、闘争破壊-線見強行体制をもつてのぞんできた。この大弾圧体制をはねのけ、われわれは、弾固、線見阻止行動を展開した。

動労革マル松崎と当局の悪うな陰謀

業務移管-基地統廃合を許すな

我孫子線のほぼ全業務を東京北局に移管し、成田運転区の廃止をもくろむ当局に対し怒りに燃える成田支部は、早朝より我孫子に結集し、一番列車に対する断固たる阻止・抗議の闘いに決起した。

千葉運転区支部も、錦糸町駅ホーム上で、出区する線見列車へ怒りをたたきつけた。津田沼支部では、国労の仲間と共にホームに陣どり、怒りのシュプレヒコールを叩きつけるとともに、構内で庁舎で、当局・白腕に守られ、青ざめる線見

乗務員に対し、徹底的糾弾を行い、労働者の怒りのものすごさを思い知らせた。闘いは、始まったばかりだ。動労革マルを先頭に、動労千葉の破壊、さらには、首切り要員生みだしのためにのりこんでくるやつらを断じて許すな。

今回の業務移管攻撃は、さらに大幅な業務移管-徹底的な基地統廃合への突破口を切りひらく攻撃だ。「61・3」「61・11」の二回のダイ改で十万人の首切りとはそういうことなのだ。

その意味では、津田沼・千葉転・成田にとどまらず、外周四区・貨物区に対する攻撃そのものだ。

そればかりではない東京でも電車基地二五が全て統廃合の対象であり、二月にも提案されんとしている「61・11」では一線区-基地化が強行されることは必至だ。

一月間の非協力・順法-線見阻止を強靱に叩いぬき、3月ダイ改阻止の第二波ストへ

まさに、今回の業務移管攻撃は、千葉の業務七〇〇キロの東京への移管というのみでなく、全国鉄労働者の首切りの突破口なのだ。

全国鉄労働者の決起をつくりだすためにも、この一カ月、非協力・順法闘争・線見阻止闘争を徹底的に叩いぬき、この渦中で強烈な第二波ストを実現しよう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！